

2026年

2026年8月4日

北海道地方 7月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 暖かい空気に覆われやすく、かなりの高温。暖かく湿った空気や低気圧の影響で多雨。 —

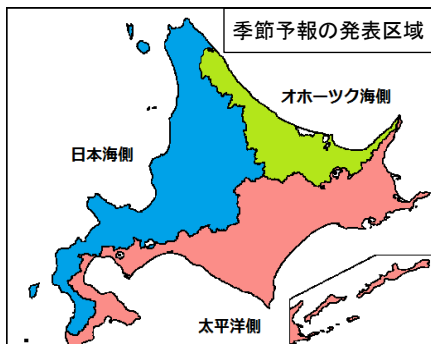
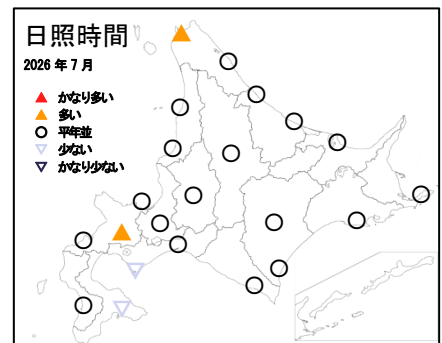
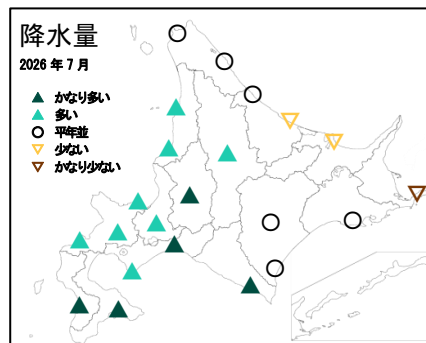
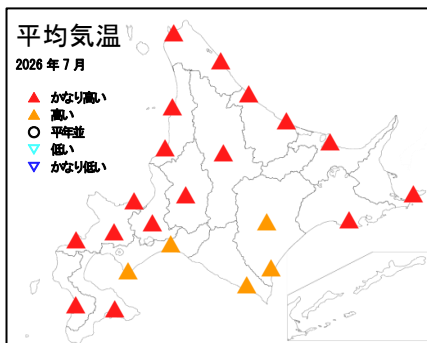
7月は、偏西風が北へ蛇行し平年より北を流れたため、暖かい空気に覆われる日が多く、北海道地方の気温はかなり高かった。一方で、上旬と下旬にオホーツク海高気圧から冷たい空気が流れ込み、低温となる日もあった。また、暖かく湿った空気や低気圧の影響で広く大雨となった日が多かったため、日本海側と太平洋側の降水量は多かった。

上旬：暖かく湿った空気や気圧の谷の影響で雨となった日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、太平洋側の降水量は少なく、北海道地方の日照時間は多かった。また、3日頃までオホーツク海高気圧から冷たい空気が流れ込んだが、その後は暖かい空気に覆われたため、北海道地方の気温は高かった。

中旬：低気圧や暖かく湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多く、北海道地方の降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。特に、日本海側の旬降水量の平年比は、1946年の統計開始以降、大きい方から第1位の記録となった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方では気温がかなり高く、北海道地方と日本海側、オホーツク海側の旬平均気温の平年差が1946年の統計開始以降、大きい方から第2位の記録となった。

下旬：低気圧や暖かく湿った空気の影響でまとまった雨となった日もあったが、影響を受けにくかったオホーツク海側の降水量は少なかった。また、オホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込みやすかったため、曇りの日が多く、オホーツク海側の日照時間は少なく、北海道地方の気温は平年並だった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.7	++	130	+	96	0
日本海側	+1.9	++	154	+	103	0
オホーツク海側	+2.1	++	77	0	91	0
太平洋側	+1.4	++	127	+	88	0

旬の統計値(地域平均)

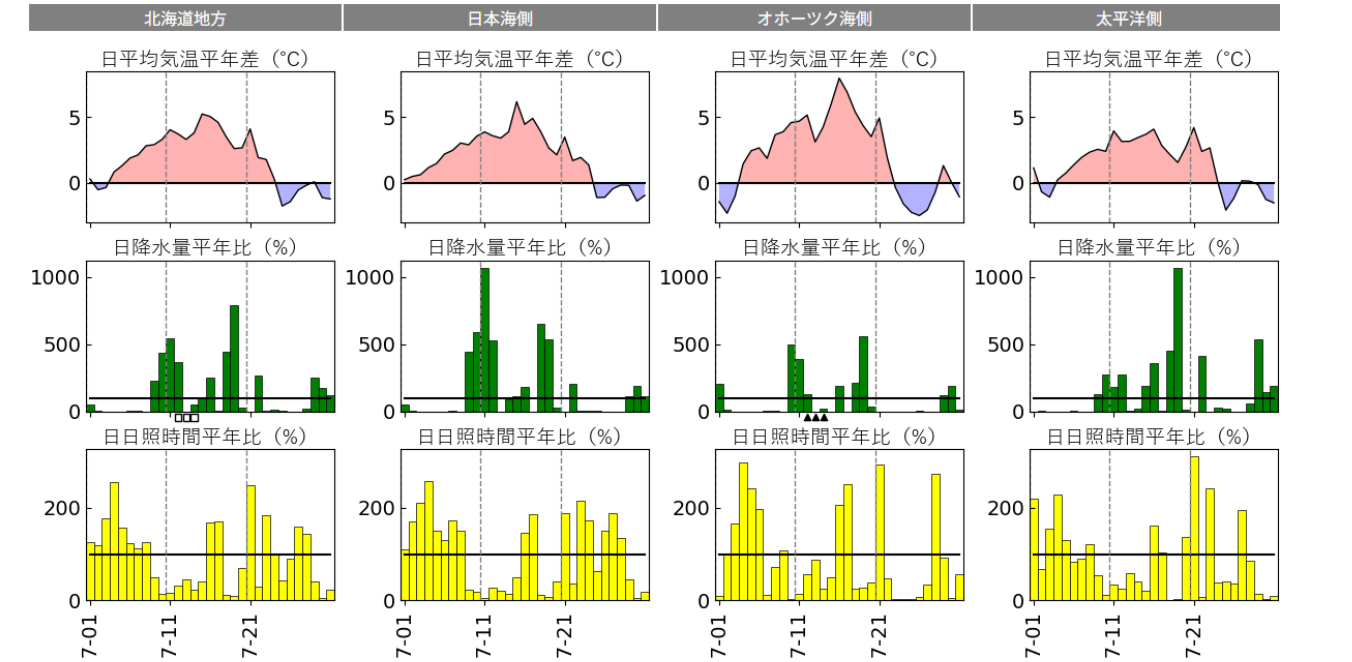
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.4	+	84	0	128	+
日本海側	+1.7	+	118	0	143	++
オホーツク海側	+1.5	+	79	0	120	+
太平洋側	+1.0	+	44	-	112	+

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+3.9	++	255	++	59	--
日本海側	+3.9	++	319	++	51	--
オホーツク海側	+5.3	++	142	+	79	-
太平洋側	+3.1	++	231	++	59	-

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	0.0	0	73	0	98	0
日本海側	+0.1	0	60	0	114	0
オホーツク海側	-0.4	0	26	-	73	-
太平洋側	+0.1	0	112	0	91	0

注)・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	22.6	+1.5	++	114.5	126	+	163.1	97	0
稚内	20.2	+3.0	++	103.0	102	0	168.0	118	+
北見枝幸	18.4	+1.8	++	138.5)	111	0	110.5	90	0
旭川	22.3	+1.6	++	191.5	148	+	151.6	95	0
留萌	21.6	+2.0	++	163.5	144	+	181.2	107	0
羽幌	21.6	+2.0	++	197.5	152	+	178.2	106	0
岩見沢	21.6	+1.4	++	225.5	202	++	146.2	94	0
倶知安	21.3	+1.6	++	175.0	171	+	158.0	109	+
小樽	22.1	+1.9	++	133.0	142	+	166.3	102	0
寿都	21.0	+1.5	++	160.5	170	+	159.6	103	0
網走	19.8	+2.2	++	42.0	49	－	167.3	100	0
紋別	19.3	+2.2	++	75.0	69	－	129.3	90	0
雄武	18.5	+2.0	++	91.5	79	0	111.5	84	0
釧路	17.9	+1.8	++	113.5	94	0	102.3	86	0
根室	16.9	+2.0	++	15.0	13	－－	125.8	107	0
帯広	20.2	+1.3	+	129.5	121	0	114.4	94	0
広尾	17.6	+1.0	+	182.0	110	0	98.9	91	0
室蘭	19.6	+1.1	+	271.0	170	+	92.1	69	－
苫小牧	19.2	+1.0	+	293.0	179	++	91.7	85	0
浦河	18.7	+1.0	+	240.5	170	++	104.3	90	0
函館	22.0	+1.7	++	194.0	157	++	109.9	82	－
江差	22.7	+2.1	++	236.5	187	++	142.6	103	0

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
・「）」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
7月	なし						

注）・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025